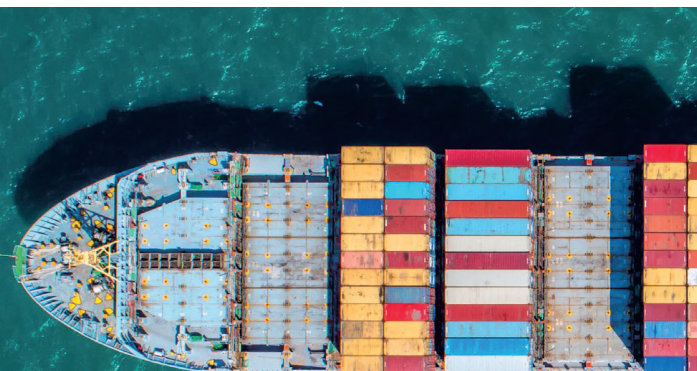


国際分類プラットフォームの 7大メリット

正確な製品分類は輸出入に関する法令遵守に欠かせないものです。しかし、膨大な量の規制変更が絶えず行われ、貿易コンプライアンス部門は時間がかかりミスの起きやすい作業を強いられています。もしあなたの会社がまだほぼ手作業での処理に頼っているなら、本文を読んで国際分類プラットフォームをどのように活用できるか確かめてみてください。



クラウド型のセントラル・リポジトリが「ただ一つの真実」として機能



全世界からアクセスできる 製品データベース

データベースが分散していると、分類の正確さにリスクが生じます。クラウド型のセントラル・リポジトリは、あなたの会社の「ただ一つの真実」として機能します。組織全体で製品情報を確実に生成、共有できるため、全地域にまたがって正確かつ一貫した分類が可能になります。

リスクと遅延を減らす

自社製品が国境を越えて途切れなく流れるようにするには、取引相手にも正確でタイムリーなデータが必要です。集中型の分類プラットフォームを導入すれば、インターネット接続環境にある取引相手が、サプライチェーン上での取引中はいつでも正確なHS情報にアクセスできるようになり、出荷遅延、滞船その他の遅延損害金が発生する可能性を減らすことができます。



関税の節約

国際分類プラットフォームを用いれば、正確な分類を行い、適切な関税率で支払うことが可能になります。また、対象製品を特定し、貿易優遇制度に申請して費用を節約することもできます。



the answer company™

THOMSON REUTERS®

追加・変更・削除がいつ行われたのかを正確に把握し、全体的な管理と正確性を向上させることができます。



記録保管要件

政府の規制は組織に対し、分類作業関連文書の維持を義務付けています。すべての分類データを1カ所に保管しておけば、追加・変更・削除がいつ行われたのかを正確に把握し、全体的な管理と正確性を向上させることができます。また、監査の際に分類、評価、関税計算の根拠を示せるよう、補足文書を添付することもできます。

関税率改定の見通し

貿易データを内蔵した自動化ソリューションを用いれば、今後あるいは最近の関税率の改定や、それをもとに分類した製品の管理ができるようになります。このような見通しが得られるため、新しい分類でも事前に積極的に選択することができます。

65483213546812356845
65483213546812356845
65483213546812356845
65483213546812356845
65483213546812356845
65483213546812356845

521
126

貿易コンプライアンスの支援

貿易コンプライアンスを念頭に作られた国際分類プラットフォームには、表計算ソフトや自社のERPとは比べ物にならないほど多くのメリットがあります。自動化ソリューションは、同一部品番号のマルチソーシングの支援、一つの部品番号に対する複数関税率の維持、OGA情報の分類の必要性など、分類上の複雑で特別な頻出課題にも対応できるようになっています。



AIによる分類

最新の技術ソリューションを用いれば、人工知能や機械学習の力を活用して、6桁の世界税関機構（WCO）基準で製品分類を行うことができます。分類の正確性を向上できるため、戦略活動に割く時間を増やし、国別の分類を掘り下げることができます。

お問い合わせ

トムソン・ロイター株式会社
mail: marketingjp@tr.com
tel: 03-4563-2700
web: thomsonreuters.jp

The intelligence, technology and human expertise
you need to find trusted answers.



the answer company™
THOMSON REUTERS®